

2007年11月15日

住友金属鉱山株式会社
東邦亜鉛株式会社
DOWAホールディングス株式会社
日鉱金属株式会社
日鉄鉱業株式会社
古河機械金属株式会社
三井金属鉱業株式会社
三菱マテリアル株式会社

非鉄8社による国際資源大学校への寄付について

国内で非鉄製錬事業を展開する上記8社（以下「非鉄8社」という）は、この度財団法人国際資源大学校（以下「国際資源大学校」という）の国内人材育成研修事業および当該事業実施のための機能強化、研修環境整備事業等の実行にあたり、国際資源大学校に対し、総額5億円の寄付を行うことを決定いたしました。

国際資源大学校は、“非鉄金属資源の安定的な供給確保のため、鉱業に関する知識を備え、かつ国際人としての識見と能力を身につけた優秀な人材の確保”を目的として、昭和45年に設立され、平成元年までに約700名の人材の研修を実施してきました。その後、平成2年から海外研修生も対象とした研修事業を実施してきました。

しかしながら、近年の非鉄金属地金の需要の高まりとともに、非鉄金属資源の需給は逼迫する傾向にあり、鉱石等の原材料のほとんどを海外に依存している日本の非鉄製錬業界としては、その安定的な確保が課題となっております。また、国内非鉄製錬業界に対して非鉄金属資源の安定供給や、地球環境の保全を視野に入れたリサイクルなど、その役割に対する期待が一層高まってきており、そのための人材確保が重要な課題となっております。

このため、国際資源大学校では、昨年6月に資源エネルギー庁が取りまとめた「非鉄金属の安定供給に向けた戦略」および本年1月に独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構が発表した「鉱物資源分野の人材育成に係る研究会」の提言を受け、「鉱業に特有の知識を備え、かつ国際人としての識見と能力を身につけた技術、事務両面の優秀な人材を確保」するため、国内の人材を対象とした研修事業を再開するとともに、機能充実や時代にあった研修環境への整備を図ることとしております。

非鉄8社としては、国際資源大学校の主旨に賛同し、国際資源大学校における当該事業の推進に寄与するため、上記の寄付を行うことといたしました。私たち非鉄8社は、今後とも非鉄金属製品の安定的な供給に向けて、人材の育成に積極的に取り組み、技術の向上に努めてまいります。

以 上

（参考資料：国際資源大学校の概要）

1. 名称

財団法人 国際資源大学校

(International Institute for Mining Technology: MINETEC)

2. 設立等：

昭和45年 5 月30日 財団法人資源開発大学校設立

平成 2 年 7 月 7 日 財団法人国際資源大学校に改組

平成 2 年12月21日 秋田県鹿角郡小坂町に事務所移転

3. 所在地等

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9番地3

TEL: 0186-29-3825 / FAX: 0186-29-3845

4. 事業目的

鉱物資源開発に関する研修、調査研究等を行うことにより、鉱物資源開発を促進するために必要な内外の人材育成を図り、もって発展途上国との国際協力を推進するとともに、我が国鉱物資源の安定供給に寄与することを目的とする。

5. 基本財産

5. 6億円

6. 予算

48. 5百万円(平成18年度)

7. 組織図

